

報道関係者 各位

放送批評懇談会

**発表！2020年2月度ギャラクシー賞月間賞**

放送批評懇談会が日本の放送文化の質的な向上を願い、テレビ、ラジオの番組、関係者を顕彰する「ギャラクシー賞」。ことしで57年の歴史を誇ります。

ギャラクシー賞テレビ部門では、「ギャラクシー賞」活動の一環として、毎月、自主的に番組を推奨する「月間賞」を選定しております。今月の月間賞を別紙のとおり発表いたしますので、貴媒体でお取り扱いのほどお願い申し上げます。

ギャラクシー賞テレビ部門は、この日常視聴に基づく「月間賞」と、各社からの応募作品を併せて審査を重ね、毎年を受賞作を決定いたします。6月初旬開催予定の贈賞式にて、大賞をはじめとする各賞が決定、表彰されます。

今後の選考にもご注目いただければ幸いです。

●放送批評懇談会について：1963年の発足以来、評論家、ジャーナリスト、マスコミ研究者などを会員に、各種の活動を展開しております。「GALAC（ぎやらく）」の編集・発行、優れた番組・CMを顕彰する「ギャラクシー賞」の選考・運営、メディア界の動きを解説するセミナーやシンポジウムの開催などを行なっています。

●過去の受賞作をお探しの場合は「ギャラクシー賞データベース (<https://houkon.jp/galaxy-database/>)」をご活用ください（掲載内容：作品名、放送局・制作社名、制作者、出演者、受賞理由など）。

放送批評懇談会

ASSOCIATION OF BROADCAST CRITICS

◆お問い合わせ先

放送批評懇談会／担当：福島・齋藤

〒160-0022 新宿区新宿 5-10-14 中村ビル 2F

Tel : 03-5379-5521 Fax : 03-5379-5510

kondankai@houkon.jp <https://houkon.jp/>

放送批評懇談会



2020年2月度ギャラクシー賞月間賞

ザ・フォーカス「ヤジと民主主義～警察が排除するもの～」

2月2日放送 25:20～25:50 北海道放送

札幌で安倍首相が選挙の応援演説をした際、「安倍やめろ」とヤジを叫んだ男性や「増税反対」の声をあげた女子大生が北海道警によって排除された問題を、地元局が真摯に取り上げた。冒頭で流れる排除の現場の映像が、番組後半で取り上げられる治安維持法にまっすぐ繋がるようで背筋が冷たくなった。

イントレランスの時代

2月2日放送 26:30～27:30 RKB毎日放送

やまゆり園事件の植松聖被告との接見で交わされる会話の内容は衝撃的。重度障害のある息子をもつ神戸金史記者でなくては制作できない番組だ。昨年放送したラジオ番組も素晴らしい内容だったが、今回は神奈川新聞や沖縄タイムズの記者の活動も描くことで、世の中に広がる「不寛容」の実態をより具体的にわかりやすく伝えていた。

土曜ドラマ「心の傷を癒すということ」

1月18日～2月8日放送 21:00～21:50 日本放送協会

阪神・淡路大震災の際、被災者の心のケアに奮闘した実在の精神科医をモデルに、日本の精神医療の現場を描いた作品。彼の被災者への態度同様、優しく丁寧に寄り添い続けるようなドラマだった。ひとつひとつのシーンが感情の密度が濃く、主演の柄本佑のセリフ回しひとつをとっても、いかに緻密にドラマ化されたかが伺えた。

NNNドキュメント'20「静かな時限爆弾～阪神大震災25年 迫るアスベストの脅威～」

2月16日放送 24:55～25:24 読売テレビ放送

発症まで25年～30年は無症状で、その後突然中皮腫と診断され、多くの人が命を落とすアスベスト被害の恐ろしさを伝える強いメッセージを含むドキュメンタリー。大震災などの復興の過程で、水もないなか、養生できずに建物の解体をせざるを得ない工事現場に対するケアの必要性を強く訴える内容。エッジの効いたタイトルも秀逸。